



「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

第167回 質問力

質問するほど理解度は深まる

勉強会などで講義をしている時でも、また、プロジェクト活動の時でもそうなのだが、質問をしてくる人は間違いなく理解度が高い。何としても理解しようということから、少しでもわからないことは質問して、自分のものにしようとする。それに対して、質問しない人は説明を聞き流していることが多く、説明したのに…という結果になることも多い。

このことは、日常の業務の中でも発生している。やり方一つを伝えるのも説明したことが理解されているかはわからない。そのために確実に理解できたかを確認するため、ポイントを言わせ、また、正しいやり方ができるかをやらせて確認する。定型作業を説明する場合は、このように確認すればよいが、いつも理解度を確認することができるとは限らない。

質問力が鍵

そうすると、いかにわかりやすく説明するかと共に、いかに質問させるかも重要ということになる。言い換えると、質問力の高い人、質問をするのが当たり前でできる企業は圧倒的に皆の理解度が高く、間違いなく効率的で管理も行き届いた仕事ができる。

どの企業も技術や技能の伝承、また、ノウハウの伝承に向けて一生懸命マニュアル化を図っている。いかに理解しやすくするかに知恵を絞っている。しかし、もう一つ重要なのは、いかに質問力を高

めるかということだ。説明が下手でも、質問できれば、確実に理解することができるからだ。

質問力を高める風土を作る

すなわち、重要なことは、いかに皆が質問できる風土を作るかだ。実はこれを意識できている企業は極めて少ない。まずはこれを意識することが第一歩だ。その上で、一つのことを説明する際も、説明の前に「少しでもわからないことがあったら、どんな些細なことでも質問して下さい」と繰り返し言い続けることだ。また質問が出たら、それはいい質問をしてくれたと言って、丁寧に答えることだ。質問する立場からすると、そんなこともわからないのかと言われるのは恥ずかしいと感じることが多く、それを払しょくすることが大切だ。質問が多く出ることで、どう説明するとわかりやすいかというコツもわかってくる。

「こんなこともわからないのか」という一言が、その企業の質問力を弱め、ノウハウの共有化ができない企業風土を作ることになる。どんなに時間に追われていても、質問をしっかりとさせ、それに正面から懇切丁寧に対応することだ。それが、質問できる企業風土を作るベースになる。

【第10面に続く】

<執筆者プロフィール>



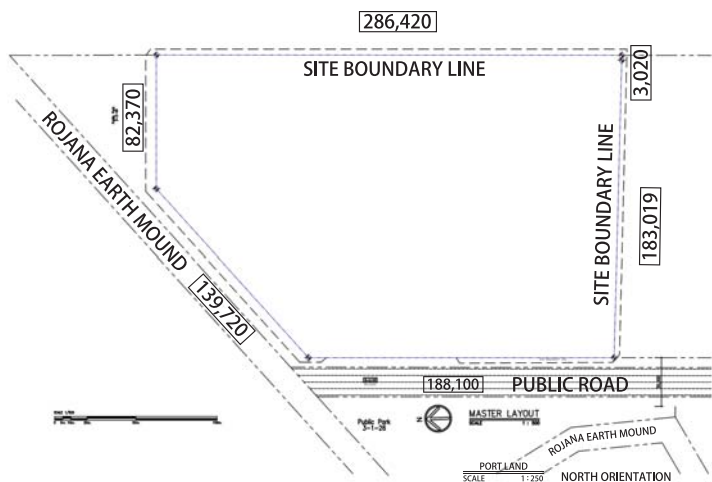
高橋 功吉 (たかはし こうきち)
 (株)ジェムコ日本経営 / 常務理事 グローバル事業担当

大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

工場建設用地

ロジャナ工業団地
アユタヤエリア



- ドーンムアン空港から45km、車で40分。
- 10,200万バーツ
- 340万バーツ/ライ
- 面積:30ライ(48000m²)(面積:29-3-98ライ、サイズは275×183mです。)

問い合わせ番号
 Mr. Sawat Khaimarn (Thai & English) Tel: 023894425 (Ext: 215)
 Mr. Akihiro Mikajiri (Japanese) Tel: 089-834-5305
 Mr. Takakuni Yanagihara (Japanese) Tel: 084-482-9293



運転手付きレンタカー
業界最安値 セダンタイプ



ヴィオスタイプ 1,200 B/8時間

その他セダンタイプ 1,500 B/8時間

ハイエスタップ 1,900 B/10時間

工業団地視察、ゴルフ、観光などに。

※1 運転手付き(ガソリン5B/km・高速代別途) ※2 外税VAT7% ※3 日本人即対応で安心

1か月から借りれる
月極め、マンスリー契約も実施中!

年単位はもちろん
長期出張でのご利用も

長期契約のメリット
・運転手の給料が含まれている。
・メンテナンス、保険は弊社負担。

日本人直通 ミヤコ サー!ゴ-ゴ-ゴ-

082-385-3555

02-955-5645

yoyaku@miyakothailand.com

営業時間: (月~土) 8:30~17:30

まずはWebで www.miyakothailand.com



【第9面から続く】

本当にカオチャイか？

タイは、説明すると皆がカオチャイと答える。しかし、本当は理解されていないことが多い。カオチャイと言ったのではないかと後で憤慨した経験のある方も多いのではないだろうか。わからないと言

うのは、目上の人に対して失礼なので、わからなくてもわかりましたと答えるのは通常のことだ。そうだとすれば、いかに質問させるかということが重要になってくる。質問する風土をどう作るかが、皆のノウハウを共有化し企業の力を発揮する上で大切だ。とりわけタイではこのことを意識して質問する風土を作ることが大切ではないだろうか。質問力が企業の力を高めるポイントということだ。

パーツの相場見通し

Dealer's insight

井上 由貴

みずほ銀行

ドルパーツは年初来高値である 33.50 近辺まで上昇するも反落

先週 7 月 18 日のドルパーツは 33.30 台前半で取引を開始。パウエル FRB 議長が議会証言で米経済先行きに強気の見方を示したことからドル高の展開となり、ドルパーツは 33.30 台後半まで上昇したが、同レベルは前週にタイ中銀が介入したと公表した水準であったことや、利食いのドル売りに押される形でドルパーツは 33.30 台前半まで値を戻した。

しかし 19 日には対アジア通貨に対するドル買いの流れが継続すると、朝方から 33.40 を抜けて上昇。海外時間に掛け一時 33.40 台後半まで上昇した。

翌 20 日にはパーツと相関性の高い人民元が大幅安となる展開に、ドルパーツもパーツ安が進行し、33.50 近辺まで上昇。しかしその後は中銀の介入が意識されたことや、6 月貿易収支において黒字幅が市場予想比大きかったこともありドルパーツは下落に転じる。その後、「トランプ大統領が年内あと 2 回の利上げを懸念している」との報道もドル売り材料となり、33.30 台前半まで下落した。

週明け 23 日は債券市場からの資金流出が続き、ドルパーツは 33.40 台半ばまで上昇。米中貿易戦争関連で新しい材料が出なかったこともあり、グローバルにドル買戻しとなりドルパーツは底堅い展

開となった。

24 日も人民元の基準値が元安方向に設定されたことを受けて一時 33.40 台後半までパーツ安が進行するも、上値は限定的。米欧首脳会談を控えた様子見ムードもあり、じりじりと 33.30 割れまで値を下げた。

ドルパーツは底堅い動きが継続か。

米中貿易摩擦問題は泥沼化しており、中国は報復のための追加関税が出来ない代わりに人民元安誘導で応戦している模様。アジア通貨の中でも人民元との相関が強いタイパーツは、一時年初来安値となる 33.50 近辺までパーツ安が進行している。タイ中銀は急速なパーツ安進行に警戒感を示しており、口先介入を含んだ為替介入を実施しているが、明確な防衛ラインのようなものはなく、あくまでスピード調整の域を出ない模様。特に年明け以降パーツ高進行に苦しめられてきたタイの輸出企業にとっても、一定程度のパーツ安進行は歓迎であろうし、タイ中銀が必死にパーツ安を止めにくる水準ではないと考えている。債券市場を中心に国外への資金流出は継続しており、アジア通貨安とともにパーツ安のトレンドもまだしばらく継続しそうである。

来週は 31 日～1 日の日程で FOMC が開催されるが、今回は政策金利据え置きで相場の反応は限定的となるだろう。タイ市場は 4 連休に入り、流動性低下が予想される中、主に米中貿易摩擦問題に関するヘッドラインを受けた、急激なパーツ安進行には十分注意しておきたいところだ。(7月25日 20:00)



PERRY JOHNSON REGISTRARS™

ISO認証取得なら何でも聞いてください! ペリージョンソンがお世話します。

提供マネジメント規格

ISO9001 / ISO14001
ISO45001(OHSAS18001)
IATF16949 / AS9100 / R2
FSSC22000 / ISO13485 GMP/HACCP/ISO10002



電子機器リサイクル会議【シンガポール】での
オーストラリア顧客様への登録証の授与式

当社は以下の認定機関より
認定を受けています。



ご相談・お見積り無料
迷わずメールください。

今の審査機関に満足して
いない等の相談もお気軽に
どうぞ。

Tel: 0-2653-2277 (タイ語・英語)

Tel: 081-915-6154 (伊藤) E-mail: iton@pjr.co.th

140 One Pacific Place, 15th Floor, Sukhumvit Rd., Klongtoey, Bangkok 10110

<http://www.fact-link.com/home/pjr-th>

情報伝達介助スタッフ(日本人 1名)

雇用形態 正社員 勤務時間 月曜日～土曜日(日曜は休業)

給与(パーツ) 6万パーツ以上応相談

勤務地 アユタヤ県バンサイ地区/M.C.S.スチール株式会社

職務内容

1. 日本側スタッフとタイ人スタッフ間の情報伝達の仲介を行う。
2. 日本語およびタイ語の指示書、伝達事項の翻訳をする。
3. 工場製品出荷前の顧客検査の補助を行う。
4. 日本人顧客訪タイの際のタイ語通訳を行う。
5. 上記業務に伴う海外出張に付随する。

福利厚生

1. 社宅完備
2. 制服支給
3. 積立基金
4. 社会保険(年金)
5. 医療保険
6. 年次賞与

応募条件

1. 男性/女性、年齢40歳ぐらいまで
2. 日常会話程度のタイ語能力および簡単なタイ語読書きが可能なこと。
3. 日本あるいはタイでの職務経験があること。
4. 専門知識の有無、経験は問いませんのでやる気のあるかたを希望します。
5. タイを生活の拠点としているかた歓迎します。

M.C.S.STEEL PUBLIC COMPANY LIMITED

人事総務部 Ms.Jarunee

E-mail: hr.operator@mcssteel.co.th

Tel: 089-901-7642-3 または 035-372-961-6 内線 204



問い合わせ先

70 Moo 2 Changyai, Bangsai, Ayutthaya Thailand 13290 www.mcssteel.com